

ポーランド政治・経済・社会情勢 (2012年10月11日～17日)

平成 24 年(2012 年)10 月 19 日

H E A D L I N E S

政治

トウスク首相の第2回施政方針演説
トウスク首相が地方遊説の実施を表明
最新の政党支持率
クラウス・チェコ大統領がポーランドを訪問
セラフィン外務副大臣がスペインを訪問
第12次アフガニスタン派遣部隊、700名減の1,800名に
EU外務理事会
ポマノフスキ外務次官がシンガポール及びフィリピンを訪問
モナコ皇太子夫妻がポーランドを訪問
トウスク首相が欧州人民党大会に出席

経済

ポーランド国債の利回りが最低記録を更新
原発建設の入札、来年第1四半期までに「競争的対話」手続きが開始される予定
ロシアの建設グループがポリメックス社の株式取得をオファー
韓国KIA Motorsがシェアを拡大
日本の投資信託がポーランド債権を保有
財政赤字が計画以上の速度で減少
9月のインフレ率は3.8%
フィアット社のティヒ工場の生産台数が低下
国内大手化学会社の合併が2013年第1四半期に完了する見通し
労働市場は低迷、平均賃金が前月比減
政府がシェールガス関連法案の準備を完了
中国の人件費上昇により、ポーランド製小型家電の需要が高まる
ブザノフスキ国有財産相が原発建設計画について言及
養鶏協議会が消費拡大キャンペーンを検討
鋳工業生産が3年振りの減少
「Dr. Irena Eris」ブランドが高級ブランドの仲間入り

大使館からのお知らせ

トルンにおける領事出張サービスについて
平成24年度後期分教科書の配付について
ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について
東日本大震災義捐金受付について
文化行事・大使館関連行事

読者からの情報提供

昭和女子大学学長・坂東眞理子氏による講演
ルブリン市にてピアノコンサート等が開催されます

在ポーランド日本国大使館
ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000
http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！
問合せ先 大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。

政	治
内	政

トウスク首相の第2回施政方針演説【12日】

12日、下院において、トウスク首相は、成長と雇用の維持・拡大及び家族・子育て支援を柱とする二度目の施政方針演説を行った。この中で、同首相は、政府が産休に関する制度改正を行うことを発表。産休を12か月まで延長することは、2013年央にも施行される見通し。同改正法を活用して産休を延長する場合は病休に伴う手当が80%に削減される。他方、専門家は、雇用者が女性を雇用しないようになる可能性があるとし、むしろ産休を義務的期間と任意の期間に分け、任意の期間を父親が取得できるようにすべきと指摘している。なお、政府信任投票は賛成233、反対219票で可決された。

トウスク首相が地方遊説の実施を表明【15日】

15日、トウスク首相は、国民に政府の施策を説明するため、クリスマス前に全国各地で地方遊説を行うことを表明。

最新の政党支持率【15日】

トウスク首相の施政方針演説後に実施され、15日に発表されたTNS Polskaの電話調査によれば、野党「法と正義」(PiS)の支持率は40%となり、与党「市民プラットフォーム」(PO)の35%を上回った。その他の政党の支持率は、民主左翼連合(SLD)13%、パリコト運動7%、農民党(PSL)2%となった。

外	交
---	---

クラウス・チェコ大統領がポーランドを訪問【12日】

12日、ポーランドを訪問中のクラウス・チェコ大統領は、コモロフスキ大統領と共に、ポーランド・チェコ経済フォーラムに出席。

の記者会見で、「EU・露間では協力より対立問題の方が多く」と発言。また、15日に行われたEU外務理事会では、ベラルーシに対する制裁拡大等について合意。

セラフィン外務副大臣がスペインを訪問【12日】

12日、セラフィン外務副大臣は、スペインを訪問し、ヴィーゴ欧州担当大臣と会談。次期EU多年度予算、銀行同盟等について協議した。

ポミャノフスキ外務次官がシンガポール及びフィリピンを訪問【15日】

15日、ポミャノフスキ外務次官は、シンガポール及びフィリピンを訪問。シンガポールでは、ポーランドのASEM改革案を説明。フィリピンでは、ポーランドの武器売却問題について協議。

第12次アフガニスタン派遣部隊、700名減の1,800名に【12日】

12日、コモロフスキ大統領は、アフガニスタン派遣の期間延長案に署名。2012年10月14日から2013年4月13日までの間派遣される第12次隊は、これまでの2,500名から700名減の1,800名及び国内に待機する予備要員200名で構成されることとなる。

モナコ皇太子夫妻がポーランドを訪問【16～17日】

16日、モナコ皇太子夫妻がポーランドでの公式訪問を開始。17日、同夫妻は上下両院議長と会談した。

EU外務理事会【14～15日】

14日、EU加盟国の外相とラヴロフ露外相との夕食会が行われ、EU・露関係、国際情勢等について意見交換が行われた。シコルスキ外相は夕食会後

トウスク首相が欧州人民党大会に出席【17日】

17日、トウスク首相は、ブカレストで開催された欧州人民党大会で演説し、「さらなる欧州と言いつつ、EU予算削減を求める偽善的傾向が見られる」と発言。

経	済
---	---

ポーランド国債の利回りが最低記録を更新【11日】

11日、ポーランド国債の利率は、これまでで最も低い4.12%となった。クレジット・デフォルト・スワップ(CDS)における取引が増加しており、本年6月に282ポイントもあった年物国債の信用リスクは、2010年4月以来の低い数値となる96.3ポイントに下がっている。これは、ポーランド政府による財政赤

字の削減及び経済成長の維持に対する評価であり、最近では、フランス国債より信頼性があり、スロバキア、イタリア、スペイン、ハンガリーよりも高い評価を得ている。ポーランド国債よりも高く評価されているのは、中東欧諸国ではエストニア及びチェコのみである。

原発建設の入札、来年第1四半期までに「競争的対

話」手続きが開始される予定【11日】

ガブリクPGE原子力エネルギー社副社長は、2013年春までに、原子力発電所建設の入札参加予定者との協議を終えるであろうとの見直しを示した。現在、同建設計画にコンソーシアム・リーダー又はコンソーシアムの参加者として入札に参加する可能性がある全13社と協議を始めている。2013年第1四半期までにいわゆる「競争的対話」手続きが開始され、これによりプロジェクトに参加する可能性のある企業が3社程度に絞られる。また、同副社長は2015年までに入札手続きは完了する予定と述べている。

ロシアの建設グループがポリメックス社の株式取得をオファー【12日】

ロシアのVIS建設グループが、ポリメックス・モストスタル社の増資の33%分を購入するオファーを提示している。同社の提示価格はポーランド企業開発庁(ARP)の提示価格より高い。しかし、基金がVISグループの経営権取得を認めることはないとの見通し。現在の計画では、ポリメックス社の株式は国内の投資家によって買収されることになる。

韓国KIA Motorsがシェアを拡大【12日】

KIA Motorsのポーランド国内におけるシェアは6%近くとなり、1年前より約1%拡大している。スロバキアの工場から完成車を供給している同社は過去9か月間で11,553台を販売し、2011年比で20%増となった。KIA Motors Europe社長は、7年保証とコンパクト・カーに関するオファーを定期的に更新していることが成功に寄与していると発言。同社は近々コンパクト・カー「シード」の3ドアタイプとミニバン「カレンズ」を投入する予定。同社の成功は論争を呼んでおり、2012年のパリ・モーター・ショーではフランスの工業大臣が、同社とヒュンダイ社が価格操作によって市場を買い上げていると批判。KIA社社長は、同社は2.6%のシェアしかないと説明しつつ、今年は欧州で34万台を販売する予定であるとコメントしている。

日本の投資信託がポーランド債権を保有【15日】

日本投信投資顧問株式会社は、ポーランドとメキシコの債券を資金運用に取り入れることを決定。投資額は190億ドルで、10月11日よりポーランドの債券が同社の資金運用の1.9%を占めることになる。同時に、2009年末には43%もあったユーロ圏の債券に対する負債は8.3%に減少させた。同社は現在、ユーロ圏ではドイツ、フィンランド、フランス及びオランダの債券を保有している。

財政赤字が計画以上の速度で減少【15日】

ポーランド中央銀行(NBP)によれば、8月の財政

赤字は年間計画の10億2,700万ユーロを大きく下回る6億3,300万ユーロまで削減された。8月の輸出は前年同期比4.3%増の120億3,000万ユーロ、輸入は同3.0%減の120億7,000万ユーロとなっており、今後更なる貿易赤字の解消に伴い、財政赤字の削減が期待できる見込み。

9月のインフレ率は3.8%【15日】

インフレーションは、夏期に一時的な落ち込みをみせたが、9月に入り上昇基調で前年同期比3.8%上昇した。上昇したのは、燃料費(13%)、電気料金(6.4%)、食料費(5.4%)である。専門家は、穀物輸出国の問題のためにさらに食料価格が上昇することを危惧している。

フィアット社のティヒ工場の生産台数が低下【15日】

フィアット社のティヒ工場は本年35万台を生産する。これは2011年の46万7千台からの減少となる見込みであり、3年連続の生産減となる。現時点では、人気車種であったパンダ・クラシックの生産終了及び需要の減少を穴埋めする新モデルの生産の予定もない。ティヒ工場における生産の最高記録は、2009年の60万6,000台である。

国内大手化学会社の合併が2013年第1四半期に完了する見通し【16日】

Azotyタルヌフ社とZAプアヴィ社の化学会社合併の過程は、2013年の第1四半期に完了する。国有財産省のバニャク副大臣は、競争・消費者保護局からも欧州委員からもよい判断がされることを期待していると述べた。Azotyタルヌフ社は、ワルシャワ株式証券市場に上場されている最大の化学製品メーカーで国有財産省が32%超、国が管理しているPZUグループが10.30%の株式を所有している。プアヴィ・窒素製造会社は、国有財産省が50%超の株式を保有する国営企業で、主に肥料やプラスチックを製造しており、国内では唯一、世界で3番目に大きいメラミン(化粧板、塗料、接着剤、食器などの原材料)製造会社である。

労働市場が低迷、平均賃金が前月比減【16日】

中央統計局(GUS)によれば、9月の平均賃金は前年同月比1.6%増、前月比0.2%減となる3,640.00ズロチとなった。これは物価上昇率3.8%に対し相当低い数値である。8月は前年同月比2.7%増、前月比0.1%減であった。雇用は前年同月比同水準、前月比0.1%減(8,100人)となる5,514,100人となっている。

政府がシェールガス関連法案の準備を完了【16日】

シェールガス開発への投資枠組み構築の一環と

して、政府は炭化水素(Hydrocarbon)採掘に対する課税や炭化水素基金創設を規定する「炭化水素採掘法案」の骨子に合意した。今後、11月までに環境省が法案を策定し、その後関係者からの意見聴取が行われ予定。骨子では、採掘会社に対し課される予定の税金及び手数料等を合わせると、総利益の40%近くになる。採掘されたガスの価格の5%、原油の場合は10%の税が課される。これに加えて、採掘にかかるコストを差し引いた純利益に対し25%の特別炭化水素税が課されることになる。また、国家による関与を明確にするため、国有財産省が監督する「国家エネルギー資源管理会社」(NOKE)を設立することを提案している。NOKEは開発会社の監督や二次市場における開発権益の取得等を行い、利益は国家予算及び長期の投資を支援する炭化水素基金に充当される。

中国の件費上昇により、ポーランド製小型家電の需要が高まる【16日】

中国の件費上昇により、ポーランド製小型家電に対する海外からの需要が伸びている。ポーランドの労働コストは中国よりも10～15%高いが、アジアからの輸出の場合納品までに3か月近くかかるころ、ポーランドからであれば短期に納入でき、品質は同等である。中欧流通センターの統計によれば、ポーランドでは、2012年上半期の小型家電輸入が前年同期比3%減少し1億5千万ユーロとなったのに対し、輸出は同1%増の1億7,800万ユーロであった。なお、ポーランドのZermer社は、これまで生産量の10%を国外企業に販売してきたが、今後は15%まで増加させる方針である。

ブザノフスキ国有財産相が原発建設計画について言及【16日】

ポーランド政府は、500億ズロチ規模となる原子力発電所の建設計画を取りやめる意図はない。12日のトゥスク首相の第2施政方針演説で、同首相が

原子力計画に言及しなかったことで、当初計画が維持されているのかと疑問を呈する専門家もいたが、ブザノフスキ国有財産相は、ラジオにおいて、「原子力発電を建設するために追加的に500億ズロチが投じられるが、投資の決定や技術の選択等は2015年にしか行われたい」と発言。他方、本件に関する入札は何度か延期されている。

養鶏協議会が消費拡大キャンペーンを検討【17日】

国家養鶏協議会(KRD)は、来年、鶏肉の消費拡大キャンペーンを行う予定。現在年間一人当たりの鶏肉消費量は26～27kgであるが、この数値はさらに伸びる余地がある。同協議会は、昼食食材として鶏肉の消費拡大の可能性を検討し、キャンペーンの準備を行っている。

鋳工業生産が3年振りの減少【17日】

中央統計局(GUS)によれば、9月の鋳工業生産は、3年振りの減少となる前年同月比5.2%減であった。特に、建設業界の減少が大きく同17.8%減となった。専門家は8月の微増の後、9月は最大で3.5%の減少を予測していたものの、予想以上に国内外市場の縮小が進んだ結果となった。なお、9月の生産者価格は過去2年間で最も低い前年同月比1.8%増となっており、インフレ懸念は大幅に緩和されている。

「Dr. Irena Eris」ブランドが高級ブランドの仲間入り【17日】

フランスの高級ブランドが加盟する「Comite Colbert」(コルベール委員会)は、高級化粧品メーカーの「Dr Irena Eris」(DRIE)がポーランド・ブランドとして初めて同委員会へ加入することを認めた。同ブランドの国際的な向上心、品質、革新性及び倫理的な経営等の特色が評価された。これまで、コルベール委員会にはフランス国外の6つのブランドを含む75のブランドが参加している。

大使館からのお知らせ

トルンにおける領事出張サービスについて

大使館は、11月17日(土)10時から13時までの間、Hotel Mercure Helios (ul. Kraszewskiego 1/3 Torun)において、領事出張サービスを実施します。詳しくは、下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/j_20120913.html

ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)について

当館HP上に、「ハーグ条約(国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約)」に関する情報を掲載いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/documents/haga_pamphlet.pdf

東日本大震災義捐金受付について

当館における東日本大震災義捐金受付は、平成25年3月31日(日)までに延長いたしました。詳しくは下記HPをご覧ください。

http://www.pl.emb-japan.go.jp/jishin/gienkin_j.htm

文化行事・大使館関連行事**【予定】「日本の書道と扇」展示会【10月19日(金)～11月4日(日)】**

トルン地域博物館にて、「日本の書道と扇」展示会が開催されます。書道を施された扇が展示されます。問合せ先、開催場所:トルン地域博物館(電話:56 660 56 12, メール:muzeum@muzeum.torun.pl, 住所: Rynek Staromiejski 1, Torun)

【予定】囲碁選手権大会【10月21日(日)】

当館広報文化センターにて、囲碁選手権大会が開催されます。同大会には囲碁に関心をもっている方だけでなく、なたでも参加することができます。詳細については、ホームページをご覧ください。

問合せ先:ポーランド囲碁協会(ホームページ:<http://warszawa.go.art.pl/>)

開催場所:在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , E メール:info-cul@emb-japan.pl, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】日本映画祭【10月26日(金)～29日(月)】

ワルシャワの「シフィト」映画館にて、日本映画祭が開催されます。本映画祭では、今までポーランドで上映されたことのない「愛と青春」をめぐる1936～2003年の作品7本をご覧いただけます。プログラムの詳細はこちら(http://www.pl.emb-japan.go.jp/kultura/j_20121026.html)をご覧ください。

問合せ先、開催場所:「シフィト」文化センター(電話番号 22 811 01 05 又は 22 811 11 09, メール swit@dkswit.com.pl, 住所: Ul. Wysockiego 11, Warszawa)

【予定】第7回ノヴァ・ルダ日本文化デー【10月26日(金)】

ノヴァ・ルダにて、同市文化センター主催による、第7回日本文化デーが開催されます。日本の映画上映及び日本映画のポスター展が予定されています。

問合せ先・開催場所:ノヴァ・ルダ市文化センター(住所: Strzelecka 2a, Nowa Ruda, 電話: 74 872 44 84, Eメール: mok@mok.nowaruda.pl, ホームページ: <http://www.mok.nowaruda.pl/>)

読者からの情報提供**昭和女子大学学長・坂東真理子氏による講演【16日】**

16日、著書「女性の品格」で知られる昭和女子大学学長の坂東真理子氏がポーランドを訪問し、ワルシャワ大学図書館で「変わる日本の女性の役割」と題する講演を行った。本講演は、三井物産が社会貢献活動の一つとしてワルシャワ大学日本学科に新たに開設した冠講座の第4回目。今回の講演に参加した約200名は、坂東氏の話に興味深く聴き、テーマに大きな関心を寄せ、活発な議論が交わされた。

【予定】ルブリン市にてピアノコンサート等が開催されます【10月23日(火)】

10月23日、ルブリン市にて河合優子氏のピアノコンサート及び歌枕直美氏による「富智の山」公演(マリー・キュリー＝スクウオドフスカ大学主催)が開催されます。その他、ヴウオジメジュ・パストウシヤク氏による、108の煩惱からインスピレーションを受けた絵画展も開催される予定です。

問合せ先: organizacja@poczta.umcs.lublin.pl

開催場所: UMCS "Chatka Zaka" ul. Rdziszewskiego 16, Lublin

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。（営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。）

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

在ポーランド日本国大使館 news@mail@emb-japan.pl
(ご連絡は電子メールでお願いします。)